

祝 600 号記念

広報

びらとり

2010 (平成 22)

11

No.600

たのしい腹話術。みんなで見たよ



子ども芸術劇場 (弥生保育園 10 月 21 日)

今月号は…

- 平取町功労者・永年勤続者表彰式
- 各地区で文化祭が開催されました
- 広報びらとり 600 号を達成!
- 町のひろば
- 教育委員会からのお知らせ
- すこやかだより
- 図書館へいこう・・・ほか

平取町功労者・永年勤続者表彰式

11月3日、中央公民館で約70人が出席し、平成22年度功労者・永年勤続者表彰式が行われました。各分野の被表彰者と功績などは次のとおりです。(敬称略)

社会福祉功労



鍋澤 保
(紫雲古津)

アイヌ協会平取支部副支部長及びアイヌ文化保存会長を永きにわたり務め、協会の福祉向上並びにアイヌ文化伝承保存に貢献されています。



小西正男
(荷菜)

平取福祉会理事長をはじめとして同福祉会役員及び社会福祉協議会会長を永きにわたり務め、地域福祉向上に貢献されています。



池川和男
(小平)

民生児童委員協議会の正副会長及び社会福祉協議会副会長を永きにわたり務め、地域福祉向上に貢献されています。

産業経済功労



野村 實
(幌毛志)

平取町農業協同組合理事及び、農業委員を永きにわたり務め、同組合の発展並びに農業振興に貢献されました。

奨励賞



中山民俗舞踊北海道支部芳広教室芳誠会代表 廣田セイ子
(振内町)

「楽踊会」の発足から25年、日本の伝統文化である舞踊の振興に努め、地域文化の向上に貢献されています。



上野敏子
(本町)

平取民謡三弦会代表に就任し、以来20年以上にわたり、民謡の普及活動に努められています。



井内秀子
(本町)

20年以上書道教室を開設する中、平取義経大学書道クラブの指導も行い、高齢者の文化向上に寄与されています。

交通安全指導員
川奈野 榮子 (振内町) 18年
大浦 義己 (振内町) 15年

統計調査員
宮入 司 (貫気別) 15年

山道 鉄也 (荷負) 15年

和田ともよ (荷菜) 15年

黒川コスミ (本町) 15年

黒川 実 (貫気別) 15年

久保登志子 (荷菜) 15年

萱野 久彦 (長知内) 15年

川奈野 榮子 (振内町) 15年

川奈野 誠 (長知内) 15年

宮入 司 (貫気別) 25年

丸岡 敏弘 (貫気別) 25年

川奈野 竜二 (荷負) 25年

本間 稔浩 (貫気別) 25年

山田 和博 (本町) 35年

消防団員

教育委員
佐々 憲一 (振内町) 15年

永年勤続者

各地区で文化祭が開催されました

今年も、各地区で文化祭が開催され、たくさんの作品が展示されました。各会場では、素晴らしい作品を前にくぎ付けになる人や、自分の作品を親に教える子どもなど、みんな思い思いに作品展を楽しんでいました。

また、振内、本町地区では芸能発表会が行われ、日頃の練習の成果を存分に発揮し、会場からは大きな拍手が送られました。



荷負地区



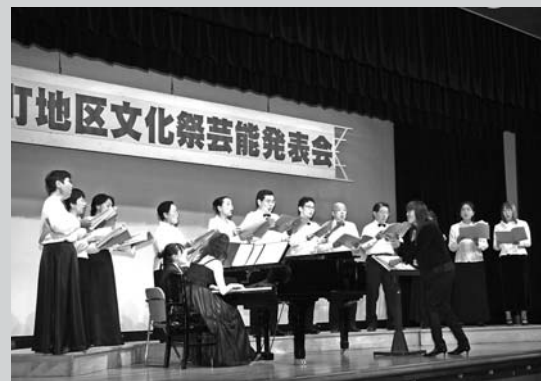
貫気別地区



振内地区



本町地区





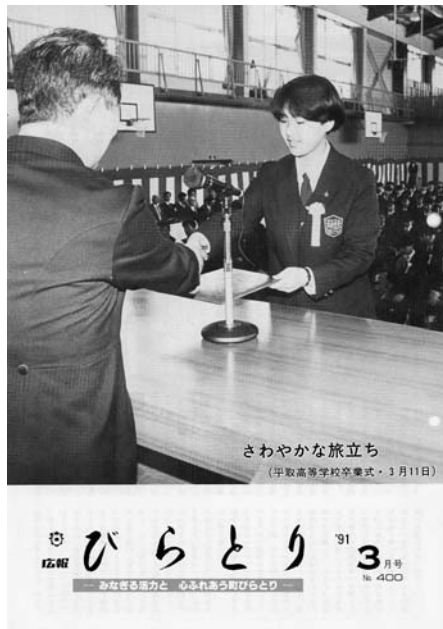
広報びらとり 200号
(昭和45年2月)



広報びらとり 100号
(昭和36年9月)



広報びらとり 500号
(平成12年11月)



広報びらとり 400号
(平成3年3月)



広報びらとり 300号
(昭和54年3月)

広報びらとり 100号は「村報びらとり」から名称が変更（第86号より変更）になり、B5版4ページで写真も掲載された紙面になっています。表紙を見ますと「平取市街に舗装ができる」と、当時をうかがえる町並みが紹介されています。

また、広報びらとり 200号には、紙面の中に4コマ漫画が登場するなど、多彩な内容となっていました。昭和の後期からは、印刷技術も向上し、カラー印刷や写真がふんだんに使われるようになり、現在に至ってはA4版、パソコンによる作成となっています。

今後におきましても、皆さんの記録となる紙面、時には手紙であるような紙面づくりを心がけ、未来に繋げていきたいと思っております。



川上町長

「広報びらとり」600号に寄せて…

早いもので、広報が無事600号を発行することができました。これも一重に町民の皆さんの温かいご支援の賜物でありますことに深く感謝を申し上げます。

振り返りますと、これまで先人が築いてきました平取町の発展は、広報誌を通して気づかされることも多くあります。今後も、町民の皆さんの貴重な情報源の1つとなるよう、まい進いたしますので、さらなるご支援をお願いいたします。

町のひろば



民謡大会全道一を報告

札幌市 貝澤早綾佳さん(10/12)

道知事優勝旗争奪「第61回全道民謡決勝大会江差追分の部」で町出身の貝澤さんが優勝し、町長室を表敬訪問しました。これまでも同大会の「北海道民謡の部」、「全国民謡の部」で優勝しており、今回、全部門を制し、歴代でも数名の三冠を達成しました。

貝澤さんは5歳から民謡を続けており、「民謡は昔の歌なので、歌詞を勉強すると、改めてその世界観がわかるのも魅力」だそうです。

また、10月10日に旭川で開催された民謡民舞全国大会地区予選を優勝し、来年開催の同内閣総理大臣賞争奪戦への出場権を得ており、「全国では優勝を目指して頑張りたい」と抱負を語ってくれました。

楽しく、おいしいびらとりを食べよう！

マークス・ボス クッキングサロンinびらとり(10/26)

びらとり特産の野菜や黒豚を使った料理講習会が、町農業支援センター・北海道電力㈱富川営業所の共催で開催されました。

講師はSTV どさんこワイド「マークスのおいしい北海道」でもおなじみのシェフ、マークス・ボスさんです。

今回は、家庭でも作れる簡単でオシャレな料理として「トマトのサルサでいただく茄子の前菜」「ポークというキノコのラグー」やデザート1品が紹介されました。

マークスさんは、テレビと同様に大変陽気な方で、終始笑いの絶えない料理講習会になりました。シェフの作る料理に参加者からは「おいしい」と歓声があがり、料理を作る楽しさと、びらとり食材のおいしさを改めて実感した料理講習会となりました。



ご寄付ありがとうございます

岩知志 登 由吉さん(10/21)

登由吉さんが亡母・スギノさんの遺志を受け「元氣なまちづくり事業」へ充てていただきたいとご寄付くださいました。

町長より「町のために大切にに使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。



「森の名人」認定おめでとうございます。

二風谷 貝澤 守さん (10/26)

社団法人国土緑化推進機構が、森づくりや木材加工に関わる優れた技術を持つ人を認定する「森の名手・名人」の「森の伝承・文化部門」に貝澤さんが選ばれました。

この認定は毎年全国で80名が選定されますが、今年は道内で唯一貝澤さんだけが選ばれました。

貝澤さんは伝統工芸品を製作し、工芸店「貝沢民芸」を営んでいるほか、町のイオル再生事業にも積極的にご協力いただいている方です。

伝統捕獲漁法で鮭を捕獲

アシリチェプノミ体験交流事業 (10/27)

イオル再生事業「アシリチェプノミ体験交流事業」が、二風谷オサツ沢において開催されました。伝統捕獲漁法「マレブ漁」「アプ漁」等で獲った最初の鮭で、遡上と豊漁を祈る伝統的儀礼「アシリチェプノミ」を行い、参加者約50名が伝統捕獲漁法に挑戦しました。激しく動き回る鮭を獲るのは難しく、熟練者にコツを教えてもらいながらも悪戦苦闘の様子。最後に捕獲した鮭で保存食を作り、かつて行われていたアイヌの伝統的儀式や食文化を体験しました。



びらとりトマト大使が集合

ふれあいセンターびらとり (10/31)

びらとりトマトを各方面でPRいただいている「びらとりトマト大使」を一同に会した2回目となる会議がふれあいセンターびらとりで開催されました。

サッカー日本代表元監督の岡田武史さんや、女優の杉田かおるさんをはじめとした5名の大使から、びらとりトマトの販路や、PRの方法について活発な意見をもらい、町にとって大変有意義な会議となりました。

各方面でのPRはもちろんのこと、また来町したいと話してくれました。



統計功労道知事感謝状を贈呈

(11/15)

統計調査員として20年以上務められた、浅道さん、粒来さん、津川さんの3名が北海道知事感謝状を受賞し、町長より伝達されました。

今後も統計調査員として、お力添えをお願いします。



写真左から、浅道節子さん(荷負)、粒来政美さん(貫気別)、津川英樹さん(紫雲古津)